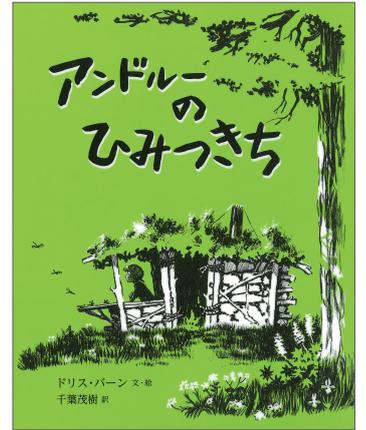




「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社:岩波書店)

こんな本だよ

アンドルーはかぞくといっしょにすんでいました。でもアンドルーは、いつも一人です。アンドルーはものづくりがすきなこです。でもなにかつくと
いつもしかられてしまいます。そんなある日アンドルーは家をでました。そし
て森のおくにじぶんと、ともだちのためのひみつきちをつくるおはなしです。

この本のこころがすきー！

『アンドルーのひみつきち』の、アンドルーが、みんなのひみつきちをつく
るところがすきです。りゆうは、二つあります。一つ目は、アンドルーのいい
ところ。アンドルーは、つくってと言ったともだちがすきなことにでき
したひみつきちをつくってあげています。二つ目は、ぼくのかんけい。す
きなものづくりやこうさくが大すきなもので、ものづくりがじょうずなアン
ドルーにあこがれています。だからアンドルーがみんなのひみつきちをつく
るところをよむととてもわくわくするのです。

本の名前 なまえ

アンドルーのひみつきち

本を書いた人 か

ドリス・バーン(文・絵) / 千葉茂樹(訳)



ものづくりが大好きなアンドルー。ばつぐんの行動力と

想像力をいかして、ついに秘密基地をつくるよ。

さし絵でえがかれたアンドルーの発明品にも心ひかれるね！

